

## 詩篇

暴力的な事実を  
平易で  
かつ安易な言語で語るしかない  
茫然自失とした者

哀れげな眼差しの群れと  
巧妙に隠された優越感  
迎合する言語  
それを神話だと祀り上げる者

身振り手振りも仰々しく  
旋律と結んだ契約に基づき  
コロッセウムの中に放り出し  
ひたすらがなり立てる者

跡形もなく均された海  
原始の静寂を取り戻した浜辺  
溶解してゆく細胞  
静かな変容を準備する者

この時のためにこそ、と  
為す術もない大衆を率いるべく  
預言者は語りかける  
終末の時が来た、と

さらに彼は叫ぶのだ  
変異した無数の白い生物が  
ある臭いに導かれ  
続々と上陸してくるだろう、と

オレンジ色の夕焼けが  
やがて来る夏を迎えている

預言者は次なる舞台を探している

(2011.6.3)